

独自開発の秘密兵器



「ドルフィン」「ホワイトドルフィン」の内部にはこんな秘密兵器が潜んでいます。その名も「総合計測システム」です。

レース中ドライバーは、走行速度や発電力、モーターの消費電力など、常にいろいろなことを気にしなければなりません。そこで、速度などの情報をドライバーにわかりやすいように数字で表示するモニターを搭載しています。このモニター表示をつかさどっているのが「総合計測システム」です。

ソーラーカーの状態を情報として集め、ドライバーが見ているモニターに送り出します。主に表示される内容は、時速（言わずと知れたスピード）、パネルからの発電量（天気次第で変化）、二次電池への入出力電力（パワーの出入り状況）、モーターの消費電力（スピードや、道の状況で変化）です。

通常このシステムは、市販されているものを取り付けるのですが、玉川ではこれを独自に開発してしまいました。工学部情報通信工学科の小川先生とソーラー工房のメンバーと一緒に開発に取り組んできました。今後も研究・開発を続け、次世代のソーラーカーのために、どんどん改良を進めていきたいということです。